



田代地区

まちづくり通信

令和2年
9月号

田代地区まちづくり推進協議会事務局
☎82-2704

★ 田代縁日 中止 ★

今年度、10月18日（日）開催を予定しておりました「第2回田代縁日」（田代地区まちづくり推進協議会主催）は、下記理由により中止することになりました。

- （理由1） 新型コロナウイルス感染拡大防止のため
- （理由2） 田代八坂神社「神楽殿」改築中の為、境内が狭小であり電源・水道の確保が難しいため



来年は開催に向けて準備したいと思っております。お楽しみにお待ちください。

まちの話題

永吉町 --- 夏越のお祓い ---



「夏越」のお祓いというのは、六月の晦日の大祓いです。今は新暦の八月一日に、永世神社では夏越祭として催行されます。このお祓いは、罪や穢れを祓い清め福利を希い願うお祭りです。

総代さんを通して氏子さんに頒布された「人形」を夏越祭の前日になでて罪や穢れや災厄を託して、枕の下に敷いて寝ます。また、前日、総代の皆さんが近くの川辺から「茅」を切ってきて大きな輪「茅の輪」をこしらえ鳥居に設置します。

夏越祭の日に、氏子さんたちは、人形をもって、茅の輪をくぐりお祓いをしてもらい無病息災を願います。このお祓いを受けた人形は御炊き上げまたは、川に流します。

その昔、須佐之男命に宿をお貸し申し上げた蘇民将来に、数年後、須佐之男命が茅の輪の作り方を教えました。家の入口に掛けるよう言われて蘇民は、そのとおりにしました。その夜、流行病が広がったが蘇民ひとり免れました。今後、疫病が流行ったら、蘇民将来の子孫と言って茅の輪を家の入口に掛けてその災いを脱すべしと須佐之男命からお告げがあったそうです。このことから、今日までまたこれからも祭典終了後、茅の輪の茅を少し手に取り持ち帰り玄関に掛け、無病息災といろんな災いを封じ込めこの茅に一年間託すのです。

毎年、八月一日に夏越祭が昼の部 11:00 から、夜の部 20:00 から行われます。皆さんどうぞ永世神社へお参り下さい。
(永世神社宮司 梶田辰則様 寄稿)



★ 掲載依頼受け付けます ★

田代地区まちづくり推進協議会の構成団体様でまちづくり通信に掲載したい内容がございましたら、田代地区まちづくり推進協議会事務局（☎82-2704）までお寄せください。